

平成 2 3 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立鳥取東高等学校

学校長 坂 口 祐 二

評 価 日	平成 2 4 年 3 月 1 6 日 (金)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況＝しののめプロジェクトの推進 ① 教科学習の充実と授業力向上 ・ 東高スタイルの授業改善の取り組みにより、生徒に意欲をもたせ、高めていると感じる。 ・ 入学してからの学力の上昇率はどうか。 ・ 学習習慣が身につけていない層への仕掛けも大事である。 ・ 保護者アンケートと生徒アンケートで学習時間にギャップがある。生徒が自分の部屋で学習以外のことをしていてもわからない。多彩なメディア環境・ネット環境の中で自分を律して学習に取り組む姿が大事。 ・ 生徒たちの3年間の成績の歩みが個人個人でわかるようなものを工夫してはどうか。これくらい頑張ればこのぐらい伸びるということが分かり、学習面でも生活面（宅習時間）でもいい指導の材料になる。また、この生徒はこういう指導法が向いているということが分かる。 ② キャリア教育の充実 ・ 1年次から継続した取り組みがされている。自分の進路目標に向け、必要な学力を身に付けさせることは重要である。 ・ 学校・家庭両方で「夢を描かせる」ことはとても大事。 ③ コミュニケーション能力の育成 ・ 1年の国語科・総合学習で、言語技術教育をどれくらい取り入れているのか。 ④ 文武両道に根ざした部活動の振興・充実 ・ 部活動をしている生徒が進路実現もできると推測するがどうか。 ⑤ 「規律ある自由」の実践と健康・安全管理の充実 ・ 家庭での対応が肝心である。学校とPTAとの連携がよく図られている。 ・ 女子の髪型、衣替え時期の規制がないようだが、東高生としてどうかという観点で、指導していただきたい。 ・ 中学校では、中学校までは携帯電話を持たせないという指導をしているが、中学卒業後、解放気分から、かなりの生徒が持っている。使い方の規制が必要である。高校でもぜひ指導をお願いしたい。		・ 進路部において把握している。 ・ 小テストや週末課題など多く手をかけている。 また、個人添削指導も実施している。 ・ 工夫してみたい。 ・ 国語科で「再話」の手法を3時間、「問答トレーニング」は、担任が学級活動の中で実践している。 ・ 部活動の加入率は95%と非常に高く、国公立大合格者中の部活動をしている生徒の割合も高い。 ・ 生徒の自主性を重んじるということで、清潔・端正という指導をしているが、現状を教員目線で見ると、もっとレベルアップが必要と感じる。教職員間でも基準のずれがあるため、来年度は、全教職員一致した目標を定め指導することとしている。衣替えは、気温等自分で判断させたい。 ・ 1年生の早い段階と、夏休み前に携帯マナーの講演会とを実施している。

- ・携帯電話は、情報リテラシーを十分理解しないで利用することは危険であり、社会問題となっている。東高では、P T Aと連携した取り組みをされており、評価できる。

⑥その他

- ・東日本大震災以降、生徒の進学先として東京志向は減っているか。

- ・学校評価の取り組みが充実している。また、東高のルールの中で、厳しく自己点検・評価しているところがよい。
- ・進学校でありながら勉強だけでなく、部活動や学校行事など様々な取り組みが充実している。
- ・アンケートの表現について、「やや思わない」⇒「あまり思わない」にかえるべき。

(2)説明・公表について

○特に意見無し

2. 学校運営への提言

- ・生徒が進路実現を目指して学習に取り組むには、具体的な個人レベルでの数値目標を示すことでモチベーションが上がる。
- ・韓国への研修旅行は、韓国の徴兵義務、貧富の格差など日本がどんなに恵まれているかを実感でき、また、将来どんな役割を果たすべきかを考える良い機会となる。続けてほしい。
- ・東高は、生徒と職員の関わりが強く、面倒見が良い。教員は生徒を引っ張っていくという意識が強いように思う。これは両刃の剣、手取り足取りし過ぎると自主性を育てるという場合、マイナスの面もあるので、バランスを取って生徒を育ててほしい。
- ・自分にとっての身近な将来が見える「鳥取学」は、いい取組なので継続してほしい。

○感想

- ・生徒、保護者アンケートから、東高教育に対する保護者、生徒の満足度、高い評価が窺える。
- ・東高の校風は、仲間との絆が強い。友達同士将来の夢を語り合うことで、次第に目標を定めることができる。
- ・自己を確立し、生きる、働くという感覚が校風にある。卒業後、自立できる生徒が育っていると思う。
- ・鳥取や母校に思いを寄せるなど、同郷意識を育てる教育を今後も大切にしてほしい。

- ・震災の影響というより、経済的なことが影響していると思われる。受験校数も減らし、関西方面を目指す生徒が多い。また、資格取得を目指す傾向がある。